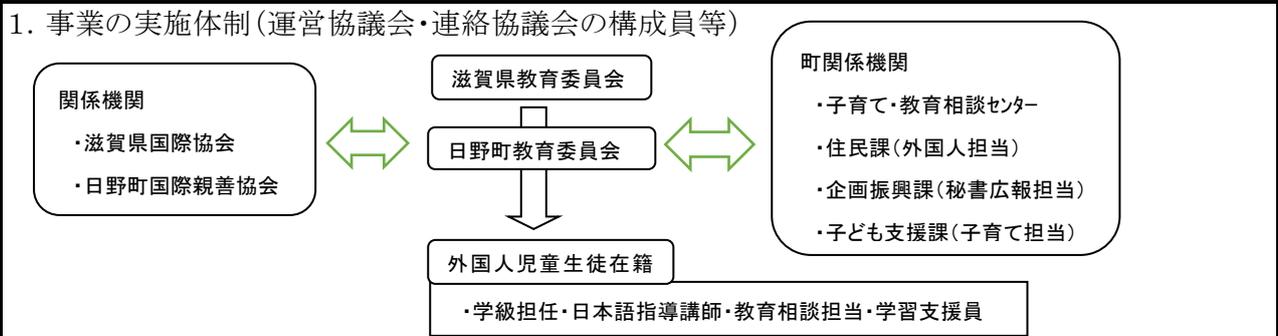


令和5年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
事業内容報告書の概要

地方公共団体名【 日野町 】

令和5年度に実施した取組の内容及び成果と課題



2. 具体の取組内容
- (1) 地域の外国人児童生徒等指導体制の推進に係る運営協議会・連絡協議会の設置・運営
 - ・教育委員会学校教育課、住民課(外国人担当)、日本語指導講師、学習支援員
 - (2) 学校における指導体制の構築
 - ・外国人「生きる力」支援事業
 - (3) 「特別の教育課程」による日本語指導の実施
 - ・「特別の教育課程」の編成と見直し
 - (4) 成果の普及
 - ・指導実践について共有
 - (7) ICTを活用した教育・支援
 - ・自動翻訳機を活用した外国人児童生徒および保護者支援

3. 成果と課題
- (1) 地域の外国人児童生徒等指導体制の推進に係る運営協議会・連絡協議会の設置・運営
 - 関係機関の情報交流により、よりよい今後の連携について確認することができた。
 - 母語が多岐にわたるため、対応できない対象者がいる。
 - (2) 学校における指導体制の構築
 - 日本語指導担当講師および学習支援員を配置し、日本語指導および生徒指導、教育相談等を実施することで、外国人児童生徒が学校生活に適應することができた。
 - 日野町役場住民課の外国人担当は、他の課における業務と兼務のため、調整を行う必要があり、十分に学校に対して支援できなかった。また、母語が多岐にわたるため、対応できない言語があった。
 - (3) 「特別の教育課程」による日本語指導の実施
 - 外国人児童生徒の一人ひとりのニーズに応じた指導が実現できた。
 - 個別の教育支援計画や個別の指導計画を活用して、長い期間での支援を検討していく必要がある。
 - (4) 成果の普及
 - 外国人児童生徒に対する理解が深まり、きめ細かい指導につながった。
 - 在籍校での指導実践について、共有した情報から指導・支援に活かしていく必要がある。
 - (7) ICTを活用した教育・支援
 - 自動翻訳機の活用により、児童生徒の学校生活への安心感が増し、意欲向上につながった。保護者との信頼関係の構築につながった。
 - 対応すべき対象者が多く、必要な時に自動翻訳機の台数が不足することがあった。

本事業で対応した幼児・児童生徒数	幼稚園等	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	中等教育学校	特別支援学校
------------------	------	-----	-----	--------	------	--------	--------

	(人 園)	34 人 (2校)	11 人 (1校)	(人 校)	(人 校)	(人 校)	(人 校)
うち、特別の教育課程で指導を受けた児童生徒数		3 人 (2校)	0 人 (0校)	(人 校)	(人 校)	(人 校)	(人 校)
4. その他(今後の取組予定等) ・次年度の活用に向け、自動翻訳機の整備を行う。							